

崎さんが隊長となり、数か月分の食糧と野菜や豆類の種子や牛をつれて山に入り、畑を作った。

8月16日の午後バンジュールマシンの民政府から連絡があり、昨日天皇の終戦詔勅が日本のラジオで放送されたという。9月中旬に山を下り、バンジュールマシンの収容所に入る。その後バリックパパンに移動し、翌年6月に日本に帰還した。

---

## 新刊紹介

◎ソロモン諸島の寄生菌類、細菌類および藻類 (MCKENZIE, E. H. C. & JACKSON, G. V. H.: *The Fungi, Bacteria and Parasitic Algae of Solomon Islands*. FAO Field Document 11, 287 pp., 1986—南太平洋諸国政府地域プロジェクト)

本誌第6号62ページに紹介したように、太平洋に散在する多くの島嶼国家の植物病害や植物寄生性生物(微生物とやどり木)の調査は、FAOの援助の下で、オーストラリアやニュージーランドの研究者の協力をえて精力的に行われている。今回、新たにソロモン諸島の調査結果が、フィジーにある南太平洋委員会とFAOの共同製作として刊行されたので紹介する。

著者のマッケージ博士はニュージーランド農工省植物防疫部の研究者で、前回紹介した南太平洋諸国の植物病原微生物調査報告にも共著者として参加している。もうひとりのジャクソン博士はフィジーの植物保護プロジェクトに席をおく研究者である。

本書の中には46属の木本植物上に306種の病害が記録され、次に各病原ごとに病徴、伝染方法、分布、文献が採録されて、利用者にとっては単なる病原リストではなく、最後にまとめられた文献とともに、利用価値の高いものになっている。なお、ここにあげられた病原体には土着のものとは考えられないものがかなり含まれており、宿主植物の移動とともに運ばれた、いわゆる侵入病害(病原体)の実態を示すものとして興味深い。(小林享夫)